

# 鳥取 YEG 通信

TOTTORI  
YOUNG  
ENTREPRENEURS  
GROUP



発行：平成30年12月15日  
鳥取商工会議所青年部  
総務広報委員会

# 12

鳥取商工会議所青年部通信

December 2018

## ■平成30年度 会長あいさつ



鳥取商工会議所青年部  
会長 杉内 勝成  
有限会社 杉内

師走も半ばを過ぎ、なにかと気ぜわしくなっておりますが、会員企業の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

一雨ごとに寒くなり、そろそろ皆様も冬の準備と共に積雪の心配をされていることと思います。昔から「カメムシの多い年は大雪になる」と言われていますが、どうも明確な根拠はないようです。しかし、いろいろ調べてみますと興味深い事実が判明しました。カメムシの発生数はスギやヒノキ花粉の飛散量と関係があり、飛散量が多い年ほど大量発生するそうです。カメムシはスギやヒノキの木に卵を産み、かえった幼虫はスギやヒノキの球果を餌にして成長し秋には成虫になります。(株)ウエザーニューズによると、来年の山陰地方の花粉飛散は、猛暑の影響で飛散量が増加する傾向のようです。来年も大量の花粉とカメムシに悩まされるかもしれません。

さて、11月3日「第2回強肩王決定戦」TOOTOR」を開催いたしました。鳥取県内はもとより、全国各地から80人超の強肩自慢が集い、2018年度「日本一」の座を競いました。決勝では1100mを超える好記録が続出。優勝は125.6mの大記録を打ち出した神奈川県選

手で、高校時代はバドミントン部だったそうです。惜しくも4位でしたが、日本陸上界でもやり投種目で有名な選手の姿もあり、まさに「強肩王」の名にふさわしい大会となりました。鳥取を元気にするため県外から多くの人々を呼び込み、活気あるまちづくりに貢献する」という事業目的のもと、将来的には新たな観光資源として、ここ鳥取の地で世界大会の開催を目指したいと思っております。

また、11月16日には、鳥取YEG主管による「東部青年経済団体協議会（五青協）」と鳥取環境大学生との意見交換会を開催いたしました。第一部は、「鳥取の元気ってなに？」をテーマに、各団体リーダーと大学生とのパネルディスカッション。第二部の懇親会では、参加者全員による意見交換と交流を図りました。様々な意見や質問の中、我々が深く考えないといけないのは、環境大学生の中には「鳥取が好きになり鳥取に残る層」も一定数はいるが、「鳥取は好きだが残らない層」が一番多いという事です。初任給や生活の利便性、情報不足など問題は多いようですが、ヒントはたくさんありました。攻めた攻めは十分ありそうです。この事業は近年にない試みでしたが、大学生との交流はとても有意義な時間でしたので、今後も定期的に開催していく事が大切だと思っております。

今年も様々な事業を展開する事ができましたが、これもひとえに会員企業の皆様の多大なるご理解ご協力のおかげであり、心より感謝申し上げます。来年も青年部一同、YEG活動に誠心誠意努力していく所存ですので、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 10月例会

日時 平成30年10月31日(水) 19:00～21:00  
場所 鳥取商工会議所 大会議室

青年部創立40周年記念大会と同日に開催予定だった10月例会は、台風25号の悪天候が予想され、10月31日(水)に延期されました。これにより、多くの皆様に多大なるご迷惑をおかけし、申し訳ございませんでした。

10月例会では、会長挨拶から始まり、会員の皆様からの自社・自己PRが行われ、各委員会から1人ずつがそれぞれが日々行っている業務や自身についてPRしました。個性たっぷりのPRに会場からも笑顔がこぼれ、登壇したメンバーにとっても、自身を知ってもらいたい機会になったのではないかと思います。続いて11月3日(土)に開催の強肩王の説明会を行い、昨年の様子も交えつつ、本年度の運営方法について説明を行いました。急な日程変更にもかかわらず、ご出席して頂いた会員の皆様、本当にお疲れ様でした。

40周年☆企画実行委員会  
委員長 荒田潤之介



例会の様子

## 鳥取県商工会議所青年部連合会 分科会・合同例会・特別講演・懇親会

日時 平成30年11月17日(土) 13:10～20:00  
場所 ホテル大山/カンパリウス

米子YEG主管による鳥取県商工会議所青年部連合会合同例会が開催されました。この日は、雨が降って気温も低くあいにくの天気でしたが、とっとりハイカーフェスタも開催されていて、大山は賑わいをみせていました。大山周辺での分科会では、鳥取県3単会の交流と親睦を深めることができました。また河野利晴氏による特別講演「魅せられて大山」では、四季折々の風景を写真で紹介していたいただき、大山の魅力が改めて感じられました。

懇親会では、講師の森山慶氏による「星を見上げる会」と題したアトラクションがあり、樹水高原などから見えるきれいな星空をスライドショーで紹介していただきました。

2019年は米子YEG創立40周年であり、2020年には倉吉で中国フットボール大会が開催されます。鳥取県連それぞれの単会の発展と飛躍を願い、大盛況の中閉会しました。



鳥取県商工会議所青年部連合会合同例会

### 鳥取産業会館フエスタ

鳥取のまちとごじごに出逢える1日

鳥取産業会館竣工10周年である今年、YEG会員企業を中心に、地元商店街などと連携し出店形式の「鳥取産業会館フエスタ」を開催しました。10月20日(土)当日は、産業会館5階大会議室、会館駐車場を主会場に、飲食・物販・展示をはじめ、お仕事体験ブース、ステージイベント、更には商店街店舗を中心とした26ヶ所を巡ることが出来るスタンプラリーが盛大に催されました。

一般参加者や家族連れを中心に延べ1000人弱の方が来場され、カレーやかつ丼、コーヒードリンクなどを打ちました。子どもたちはお仕事体験コーナーの足場で作った遊具や左官体験・工作体験・高所作業車など、普段体験することができない出店企業の特徴が活かされたコーナーを存分に楽しみました。

また、会館5階では、ステージイベントとして「トイレットペーパー早積大会」や出店企業による珈琲教室・インテリア講座・お抹茶体験・リンパ体操など、多彩な講座や余興で来場者を賑わせていました。そしてフエスタのラストを飾るイベントとして、スタンプラリー達成者を対象に豪華賞品が当たる大抽選が行われ、会場はさらに熱気に包まれました。

今回の事業を通じて鳥取商工会議所のアピール、地域を巻き込むことでの中心市街地活性化、会員企業のさらなる発展という目的は、来場者の楽しんでおられる姿や会場全体の盛り上がりを見て、達成できたのではないかと感じております。

ビジネス創造委員会 委員長 山中慎也



ピカピカ泥団子作り



お抹茶体験

### 第2回強肩王決定戦

### IN TOTTORI を開催

11月3日(土・祝)にコカ・コーラボトラーズジャパンスポーツパーク(布勢総合運動公園球技場)で「緑の感謝祭」とコラボして、第2回強肩王決定戦を開催しました。今大会は県外からの募集を拡大し、鳥取発、世界初の遠投大会第2弾として全国から参加者を募り、魅力ある鳥取を県内外へ発信し続ける足掛かりとして位置付けました。さらにゲストとして、野球YouTuberトクサントクサントクサンとライバチさんをお呼びし、大会を盛り上げていただいたほか、YouTuberを通して、集客から大会の様子など全国に発信していただきました。また、ジュニア(小学生)部門も新設し、20人近いお子さんから登録があり、優勝記録が74・38mと大人顔負けの記録で会場を大いに沸かせました。

一般部門では、遠くは東京近郊や、九州など全国から80人を超える強肩の猛者が集まり、予選通過ラインが107mと昨年度の優勝記録104.4mを大きく超える記録が連発する素晴らしい大会となりました。最終的に上位10人が進んだ決勝戦では、110mを超える記録が連発。125・61mと驚くべき記録をたたき出した神奈川県男性が、強肩王の称号を手に入れました。3位までに入った方がすべて120m超という結果となり、本当の意味で全国から強肩の猛者が集まる大会となりました。

来年度は、よりパワーアップした大会を企画し、鳥取を更に盛り上げていこうと思います。ご協賛を頂いた皆様、大会に協力して頂いた皆様、本当にありがとうございます。

40周年☆企画実行委員会

委員長 荒田潤之介



多くの方々に参加いただきました



入賞者の勇姿

### アウトドア同好会

『ぞうだ! 大山登りに行くぞう!! 紅葉見れたらいいな』

10月27日(土)に紅葉真っ盛りの大山登山に行ってきました。定番の夏山登山道から山頂を目指します。小雨が降るコンディションにも負けず雨具を着てスタート。夏山登山道は、長い階段のような道が続きます。日ごろの運動不足を感じながらも、みんなで声を掛け合いながら意気揚々と登ります。この日は気温が低く、周囲に何も遮るものがない木道に出ると、冷たい風が吹きすさび体感温度は一気に氷点下に!一同凍えながらも無事に登頂しました。

下山は、五合目前から元谷方面に下りる行者コースにルート変更したところ、赤や黄、オレンジと見事に色づいた紅葉の森の中を歩くことができました。ここまで美しい紅葉は他所ではなかなか味わえないと思います。この頃には雨や寒さもさまり、それぞれが紅葉撮影を楽しみながら下山しました。その後、近くの温泉につかり、登山の疲れを洗い流し、身も心も温まりました。あいにくの天候でスタートしましたが、結果として当初の予想を超える素晴らしい紅葉を楽しめた最高の山行でした。

今年は大開山13000年という記念すべき年です。大山寺周辺には新しいショップが整備され、たくさんのお客で賑わっていました。登山に観光に本当にたくさんのお客にあふれる大山。また来年も登りたいです!

アウトドア同好会

安田道人



山頂にて



紅葉を楽しみながら